

第5章 施策と成果目標

1 成果目標達成への工程

ここでは、第4章において記載した施策に取り組んだ結果、「どのようにになるか。」あるいは「どのように変わるか。」を成果目標として示しています。
また、成果目標達成への工程を管理するための成果指標を示しています。

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標	
新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現	1 キャリア教育の推進	1 キャリア教育の推進体制の確立及び充実	キャリア教育推進指針を策定し、組織的・体系的なキャリア教育が実践されています。	キャリア教育推進指針の策定・推進	
		2 キャリア発達を促すための体験的な活動の推進	児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組が進んでいます。	公立高校におけるインターンシップの実施率 公立中学校における職場体験の実施率	
		3 産学官連携、高大連・携の推進	企業や関係団体等と連携し、専門教育の充実に取り組むとともに、学科の異なる専門高校が連携する高度な教育が実践されています。また、高校生に対し、大学の専門性を生かした講義・講演等を行うことを通し、専門的な分野・領域への興味・関心や自己の将来を考える機会の充実が図られています。	産学連携事業実施校数(累計) 6次産業化商品のプロデュース数(累計) 大学から高校へ出向き行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施	
		4 主権者教育(政治的教養を育む教育)の推進	児童生徒が、模擬投票・模擬議会等を通じて、多様な他者と協働しつつ、社会参画を実感する取組が進んでいます。	主権者教育の充実に向けた取組の推進	
	2 グローバル化に対応した教育の推進	1 外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進	外国語教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒がグローバルマインドを育てています。	海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進 高校生の留学(疑似留学体験、海外語学研修含む)者数	
		2 帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実	日本語指導が必要な児童生徒への支援が充実し、学校内に相互理解の取組が進んでいます。	日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進 日本語講師を派遣する対象の児童生徒数	
	3 ICT活用能力の育成	1 ICTを活用した教育の推進	教職員の指導力の向上が図られ、授業等におけるICTの活用が進んでいます。	ICTを活用した授業実践の研修参加者数	
	4 スポーツ文化の創造	1 競技スポーツの振興	ジュニア層の育成、強化が進み高等学校の競技力が向上し本県出身の選手が全国大会で活躍しています。	国民体育大会天皇杯順位の向上 全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数 鳴門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定人数	
		2 スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造	県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみスポーツを通じて地域が活性化しています。	徳島県スポーツ推進計画の着実な推進	
	5 伝統文化の継承と文化芸術の創造	1 文化芸術活動の推進	学校の教育活動と芸術家等の活動が結びつき、児童生徒が優れた文化芸術活動にふれる機会が増えています。また、文化の森総合公園各館において、魅力的な展示や普及教育活動を通して、伝統文化の継承と文化芸術の創造が図られています。	学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数(累計) 文化の森文化施設普及事業の開催回数	
		2 伝統文化と文化財の保存・継承	学校教育で伝統文化や文化財を学ぶ機会が確保され、誇りを持って郷土を語る子どもの育成が広がっています。	伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校教育課程の実施	
	基本方針2	1 確かな学力の育成	1 学力向上策の推進	「阿波っ子 学びのスズメ10か条」を活用した教育活動が展開され、「自ら考え、判断し、表現できる子ども」の育成に向けた取組が進んでいます。	ふだん一日10分以上読書をする児童・生徒の割合 「全国学力・学習状況調査」で調査対象となっている国語・算数(数学)の県平均正答率 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率

各成果指標の平成29年度までの工程を示しています。「単位」の欄には数値目標を指標に採用している場合の単位、「基準値(基準年度)」の欄には基準とする数値等とその年度を示しています。「平成29年度までの工程」には、平成25年度から平成29年度までの具体的な工程を示し、「ページ」の欄は、施策が掲載されているページを示したものです。

工程に示した数値について、水準を維持することが重要なものについては、前年度と同じ数値を掲げているものがあります。

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
—	—	策定	推進	推進	推進	推進	21
%	77.3(H23)	75	80	92	95	97	22
%	96.5(H23)	98	100	100	100	100	
校	3 (H24)	6	9	12	15	19	23
件	0 (H25)			1	4	7	23
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	23
—	—				推進	推進	24
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	25
人	106 (H25)			190	230	270	25
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	27
人	39 (H25)				60	60	27
人	—	400	400	400	400	400	28
位	国体天皇杯順位45 (H24)	—	30位台	30位台	30位台	30位台	29
団体	11 (H25)			17	18	20	29
人	250 (H24)	300	300	300	300	300	29
—	徳島県スポーツ推進 計画の策定(H24)	推進	推進	推進	推進	推進	31
人	160 (H24)	165	170	180	180	180	31
回	254回 (H23)	250	250	270	270	270	31
—	—	モデル校での実施	モデル校での実施	モデル校での実施	全公立中学校での実施	全公立中学校での実施	32
%	小学校5年生 70.1%(H23)	76.0	78.0	87.0	88.0	89.0	34
	中学校2年生 58.1%(H23)	66.0	68.0	80.0	83.0	84.0	
—	—			推進	推進	全国平均以上	34
%	小学校6年生 87.5%(H24)	88.5	89.5	91.5	96.5	97.0	34
	中学校3年生 82.9%(H24)	84.5	85.5	86.5	87.5	88.5	

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標
基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現	1 確かな学力の育成	2 幼稚園・小学校・中学校の連携	発達や学びの連続性の観点から円滑な接続が図られています。	幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進
		3 コミュニケーション能力の育成	児童生徒が、様々な人とふれあい、伝え合う楽しさや喜びを実感する取組が進んでいます。	授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進
	2 豊かな心の育成	1 道徳教育の充実	命を大切に作る心や他人を思いやる心、郷土の伝統や文化について理解を深める体制が整備されています。	県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携
		2 豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進	学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携が緊密に図られ、継続的に学校や地域でのボランティア活動が進められています。	各学校における、児童生徒のボランティア活動への参加機会の設定
		3 環境教育の推進	新 学校版環境ISOの認証取得が進み、学校での環境学習の学びが家庭や地域へ波及しています。	「新 学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合
	3 健やかに生きる力の育成	1 学校体育の充実と運動習慣の確立	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果における全国順位が向上しています。	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数
		2 学校における食育の推進	地元の食材をつかった学校給食が「生きた教材」として活用されるとともに、栄養教諭・学校栄養職員の専門性を生かした「食に関する指導」が充実しています。	栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合 学校給食における地場産物の活用率
		3 学校保健の充実	子どもの健康課題に対応するため、地域の実態に応じた健康問題解決への体制づくりが進んでいます。	健康課題に対する地域検討会、研修会、講演会等の開催回数 肥満傾向の児童生徒数(小中)
	4 個性がひらく特別支援教育の推進	1 相談支援体制の充実	特別な支援が必要な幼児児童生徒一人一人に対する「個別的教育支援計画」が作成・活用され、関係機関の連携による一貫したきめ細かな支援がされています。	ニーズに応じた「個別的教育支援計画」の作成率
		2 就労支援の充実	特別支援学校では、事業所等で適性に応じた就業体験を積極的に行うとともに、特別支援学校高等部の生徒を対象とした「技能検定」が開発・実施され、生徒の働くための意欲や技能の向上が図られています。	特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計) 県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率 とくしま特別支援学校技能検定受検者数
		3 発達障がい教育の充実	「みなと高等学園」を核とした、教育・福祉・医療・保健・労働等の機関をつなぐネットワークを利用した相談支援が進むとともに、各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法の情報提供が進んでいます。	関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践教育の事例数(累計) 特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数
	5 行動につながる人権教育の推進	1 教育活動全体を通じた人権教育の充実	「徳島県人権教育推進方針」に基づき、学校の教育活動全体を通じて人権教育が推進されています。また、校内外の研修が充実され、教職員の人権意識や指導力が高まっています。	徳島県人権教育推進方針の改定・推進 人権教育研究校の指定校数 ライフステージに応じた人権研修回数 人権教育指導員による研修等の満足度 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数
		2 自主的な活動の推進	中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流する機会が設けられ、人権について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力が育っています。	中・高生による人権交流集会参加人数
	6 豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	1 芸術文化活動の活性化	児童生徒が優れた芸術文化に触れたり、体験する機会の充実が図られ、豊かな感性や情操が養われています。	学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	36
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	37
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	38
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	40
%	75 (H25)			80	82	84	40
種目数	9(H25)			11種目以上	13種目以上	15種目以上	41
%	11.1% (H25)			33.3	44.4	55.5	42
%	国の基準 (目標値) 30%	31	32	35	35	35	42
回	20 (H24)	15	15	15	15	15	43
%	5,437人 (H25)			H25の2%減	H25の4%減	H25の6%減	43
%	73.7% (H24)	76	78	82	85	95	44
事業所	300 (H24)	350	400	450	450	550	45
%	97 (H25)			100	100	100	45
人	65 (H24)	100	110	370	380	390	45
校	5 (H24)	10	15	15	15	15	46
校	30 (H24)	45	60	90	100	100	46
件	—			設置	20	50	46
件	—			開発	1,000	1,200	46
—	改定準備 (H24)	改定	周知	推進	推進	推進	47
校	8 (H24)	8	8	8	8	8	47
回	4 (H24)	4	4	4	4	4	47
%	90 (H27)				95	95	47
作品	3,000 (H21~24平均)	3,000	3,100	3,200	3,300	3,500	47
人	412 (H24)	420	420	440	440	450	48
人	10,597(H25)			10,000	10,000	10,000	48

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標
基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現	1 学校・家庭・地域の連携の推進	1 学校・家庭・地域の連携	学校・家庭・地域が一体となった教育上の総合的な取組が推進され、一人一人を大切にされた教育の充実が図られています。	「とくしま教育の日(週間)」の効果的な事業の実施 放課後や週末等における教育・体験活動の実施率 読書活動を推進するイベントへの参加者数 人権教育総合推進地域の指定数
		2 家庭の教育力の向上	家庭教育に関する学習機会を活用し、基本的な生活習慣の確立をはじめとした家庭教育の重要性がより一層理解されるとともに、家庭教育支援者を中心に家庭教育支援の交流の輪が広がっています。	家庭教育に関する学習機会を提供する講座数 家庭教育推進学習ファシリテーター(推進リーダー)を養成する講座の開催回数 「早寝 早起き 朝ごはんに エコ活」表彰者(団体含む)数
	2 とくしまの教育力の活用	1 学校の応援団づくり	学校支援地域本部・学校サポーターズクラブの取組や、学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト等の活動により、学校・家庭・地域の連携協力が推進され、地域の教育力の向上が進んでいます。	学校サポーターズクラブ登録数
		2 開かれた学校づくり	学校評価システムの改善・充実やコミュニティ・スクールの導入、県立学校の特色を生かした地域開放などに取り組むことで、地域に開かれ信頼される学校づくりが進んでいます。	「県立学校地域開放プラン」の展開 学校評価結果を広く公表している学校の割合 コミュニティ・スクールモデル校数(累計) 「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) 「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)
	3 幼児期の成長を支える取組の推進	1 幼児教育の充実	幼児の健やかな成長を促す質の高い幼児教育が提供されるとともに、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・接続が充実し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動が展開されるとともに、家庭における教育力の向上が進められています。	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況 (再掲)家庭教育に関する学習機会を提供する講座数
		2 預かり保育の充実	保育内容の工夫や指導体制の充実・安全上の配慮がなされた預かり保育が実践されています。	保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善
	4 社会教育における人権教育の充実	1 生涯学習の視点に立った人権教育の充実	幼児期から高齢期に至るそれぞれのライフステージに対応した交流活動や研修会、研究会等の人権に関する多様な学習活動が展開され、同和問題をはじめ様々な人権問題について理解が進んでいます。	人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実
	5 地域の教育に貢献する人材の育成	1 人権教育推進者の養成	社会教育における人権教育を推進するために、市町村の推進担当者を対象として、講演会、体験的参加型による研修、情報交換等が行われ、人権教育推進者の養成と資質向上が図られています。	社会教育における人権教育推進者の養成数
		2 スキルを社会に還元する機会の充実	これまでの学習成果を活かした「学校・家庭・地域連携推進支援スペシャリスト」の活動により、地域の絆を強め、地域の教育力が向上しています。	学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数及び活動の充実

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
-	-	シンボルマークを使った広報・啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施	事業の充実	事業の充実	50
%	35 (H25)			45	60	75	50
人	1,678 (H23)	500	500	1,500	1,500	1,500	50
地域	2 (H24)	2	2	2	2	2	50
回	-	10	10	10	10	10	52
回	-				6	6	52
人	2 (H24)	2	3	5	5	5	52
登録数	62 (H26)				76	83	53
-	展開 (H24)	展開	全校展開	取組内容の充実	取組内容の充実	取組内容の充実	54
%	75 (H23)	90	100	100	100	100	54
校	13 (H24)	14	14	24	27	30	54
事例	0 (H24)	4	8	14	18	22	54
事例	0 (H24)	0	1	2	3	4	54
-	-	推進	推進	推進	推進	推進	55
回	-	10	10	10	10	10	55
-	-	推進	推進	推進	推進	推進	56
回	5 (H24)	5	5	10	10	15	57
-	-	推進	推進	推進	推進	推進	57
人	48 (H24)	48	48	50	50	50	57
人	14 (H24)	20	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	58

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標
基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現	1 多様なニーズに対応した学習機会の提供	1 学習支援体制の充実	生涯学習情報システムにより多様な学習情報が県民に提供されるとともに、マナビイセンターでは、生涯学習関係の各種コーナーを設けて学習支援が行われています。	マナビイセンターの利用者数
		2 帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実(再掲)	日本語指導が必要な児童生徒への支援が充実し、学校内に相互理解の取組が進んでいます。(再掲)	日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進(再掲) 日本語講師を派遣する対象の児童生徒数(再掲)
	2 学びの環境の充実	1 文化の森総合公園文化施設の充実	文化の森総合公園の施設を活用し、幅広い層の県民に親しまれる事業の実施や文化活動の機会が提供されています。	文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)
		2 ライフステージ等に応じた学習環境の充実	地域住民のニーズに応じた講座や催し物の充実が図られ、生涯学習の場としてライフステージに応じた地域住民の学習機会が提供されています。また、牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等の機会が提供されています。	生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数 牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等への参加者数
	3 郷土とくしまから学ぶ機会の充実	1 郷土とくしまに気づき学ぶ機会の充実	子どもたちが、郷土の自然や文化に対して理解を深められるよう、学校での文化の森の利用が促進されるとともに、所蔵資料の貸出や職員の講師派遣が進んでいます。	博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の学校への講師派遣回数
		2 伝統文化の継承と活用	学校や保存団体による伝統文化・文化財の継承と活用が進み、児童生徒の郷土とくしまを愛する心が育まれています。	保存団体による継承・活用事業の開催への支援 ふるさと人材バンクの登録人数
	4 文化遺産を活用した学びの場づくり	1 文化財の保存と活用	県内所在の文化財についての基礎調査や埋蔵文化財調査が行われ、新たな文化財指定が進むとともに、防災対策などその保護や文化財を活かした地域づくり・人づくりが進められています。	史跡等指定・選定数(追加指定を含む)
				国・県指定文化財件数(追加指定を含む)
				文化財防災対策の実施
	5 学び続ける場と機会の充実	2 いにしえ夢街道	文化財を単体ではなく、夢のあるストーリーを持つ「群」として捉え、県民の参加・参画と協働を得ながら総合的に活用することにより、文化財を活かした地域づくりをめざす「いにしえ夢街道」の実現に向け、各地域の取組が広がっています。	活用ゾーン設定数(累計)
				いにしえ講演会参加人数
				「板東俘虜収容所関係資料」について、鳴門市と協力して申請書作成等を進め、平成30年にユネスコへの申請書提出、31年度登録を実現します。
6 生涯スポーツの振興	1 生涯スポーツの充実	総合型地域スポーツクラブが競技力向上の活動拠点として、また子どもたちの健全育成や健康づくりの拠点として活発に活動しています。	総合型地域スポーツクラブ会員数	
			生涯学習・社会教育関係職員などを対象とした研修会が実施され、人材育成が進んでいます。	生涯学習・社会教育関係職員対象の研修
安全・安心で魅力あふれる教育の実現	1 安全・安心なとくしまの学校づくり	1 自然災害から命を守る教育環境の整備	県立学校や市町村立学校の耐震化が進むことにより、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の整備が進んでいます。さらに県立学校については、災害時の避難所としての役割も十分果たせるように、必要な施設・設備の強化・充実が進んでいます。	学校施設耐震化率 県立学校避難所施設強化・充実事業の実施校
			各種生涯学習講座の修了者等が指導者として開講している講座やイベントをはじめ、県内の様々な講座・イベント情報をインターネットを活用し配信することにより、学習成果を社会に還元するとともに学びの機会を提供しています。	(再掲)生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
人	46,877 (H23)	48,000	49,000	50,000	51,000	52,000	59
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	60
人	39 (H25)				60	60	61
万人	1,702 (H23)	1,840	1,910	1,977 (67万人)	2,045 (68万人)	2,125 (80万人)	61
回	53,793 (H25)			55,000	55,000	55,000	61
人	100 (H25)				300	800	61
回	53回 (H23)	毎年50回以上	毎年50回以上	毎年70回以上	毎年70回以上	毎年70回以上	63
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	63
人	60 (H24)	65	68	71	73	75	63
—	13件 (H24)	14	15	16	18	22	64
件	国指定94 (H24)	95	95	96	96	101	64
	県指定333 (H24)	334	335	336	337	338	
—	—	文化財ハザード マップの作成	文化財個別カルテ の作成	文化財個別カルテ の作成	文化財防災対策 の充実	文化財防災対策 の充実	64
—	6ゾーン (H24)	7ゾーン	8ゾーン	8ゾーン	8ゾーン	8ゾーン	65
人	130 (H24)	150	150	150	150	150	65
—	—					推進	66
回	—	2	2	2	2	2	66
回	53,793 (H25)			55,000	55,000	55,000	67
人	7,800 (H24)	8,600	9,500	10,300	11,100	12,000	68
%	県立学校 74.5% (H24.4.1)	85	90	100	100	100	70
	市町村立学校 85.8% (H24.4.1)	90	95	100	—	—	
%	事業着手校 25% (H24)	事業着手校 50%	事業着手校 65%	事業着手校 80%	事業着手校 82%	事業着手校 95%	70

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標
基本方針5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現	1 安全・安心なとくしまの学校づくり	2 自然災害等から命を守る教育の推進	災害時において、自ら判断し危険を回避する力と、積極的な社会へ貢献する力の育成が進んでいます。また、地域の関係機関や防災組織との協働を活性化する防災士の育成が進んでいます。	県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計) 高校生防災士養成数(累計) 県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率
		3 登下校・部活動・体育授業時の安全確保	登下校時や学校における児童生徒の安全を確保する取組が進んでいます。	学校安全ボランティアの登録数 学校管理下において、熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数
		4 教育相談体制の充実	いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応するため、充実した教育相談体制が整備されています。	スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価(満足度) スクールソーシャルワーカー配置数
		1 新たな高校教育の創造	高校再編により魅力ある教育活動が展開されるとともに、社会の変化に対応した高校教育の創造が進んでいます。	再編高校の開校 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施
	2 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	2 特色ある学校づくり	県立高校における徳島ならではの取組が全国に向けて発信されています。また、徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校が併置され、視覚障がい・聴覚障がい教育の拠点校として教育活動が展開されるとともに、両校教員の連携・協働による取組が進んでいます。	(再掲)「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) (再掲)「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) 消費者教育の充実に向けた取組の推進 県立高校における「エシカルクラブ」設置率 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数
		3 きめ細かな指導体制の整備	教員が子どもと向き合う時間が確保され、児童生徒一人一人にきめ細やかな指導が実施されています。また、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保障するという「新しい小中一貫教育(徳島モデル)」の取組が進んでいます。	35人を上限とする少人数学級編制 チェーンスクール及びパッケージスクールの実施地域数
		4 地方と都市の学校を結ぶ新たな教育環境の創造	地方と都市、双方の視点に立った考え方のできる人材を育成する「デュアルスクール」のモデル化に向けた取組が進んでいます。	「デュアルスクール」モデル化に向けた取組の推進
		3 私立学校の振興	1 私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり	私立学校教育にかかる経常的経費等への支援により、私立学校の教育条件の維持・向上、経営の安定化、魅力ある学校づくりが進むとともに、修学上の経済的負担の軽減が図られています。
	2 公私立高等学校間の連携・機能分担		公私立高等学校連絡協議会において、公私立高等学校間での意思疎通が活性化され、県内高校教育の充実・振興が図られています。	公私立高等学校連絡協議会の開催
	4 希望に導く教職員の育成	1 優秀な教員の確保	専門知識、使命感、豊かな人間性や指導力に優れた職員が採用されています。	県内外大学における教員採用に係る説明会
		2 教員の資質能力向上	学び続ける教員の支援や研修の充実により、専門性の向上など教職員の資質能力が向上しています。また、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を図る取組が進んでいます。	キャリア教育、グローバル化に対応した教育及びICTを活用した教育の推進を図るための研修への参加者数 教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種に対応した免許状」の保有率 各県立学校・市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修(要請)の実施回数

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
校	10 (H24)	15校以上	20校以上	全県立中学校・高 校に設置	全県立中学校・高 校に設置	全県立中学校・高 校に設置	71
人	0 (H25)			80	220	360	71
%	0 (H25)			40	60	80	71
人	9,271 (H24)	11,000	12,000	12,000	14,000	14,000	72
人	48 (H24)	40人以下	40人以下	30人以下	30人以下	30人以下	72
—	—	80%	85%	90%	95%	95%以上	72
人	9 (H24)	9	10	11	14	15	72
—	1地域再編計画策定 (H24) 1地域再編計画策定 (H27)	開校準備	再編高校開校	再編統合準備	再編統合準備	再編統合校設置・ 開校準備	74
—	—	報告書作成	個別計画策定・実 施	個別計画策定・実 施	個別計画策定・実 施	計画実施	74
事例	0 (H24)	4	8	14	18	22	75
事例	0 (H24)	0	1	2	3	4	75
—	—				推進	推進	75
%	—					33	75
件	—	連携準備	300	350	400	400	75
—	小学校1～4年・中学 校1年に導入 (H24)	導入拡大	小学校全学年・中 学校1年に導入	小学校全学年・中 学校1年に導入	小学校全学年・中 学校1年に導入	小学校全学年・中 学校1年に導入	76
地域	2 (H25)			6	7	8	76
—	—					モデル試行	77
—	—	支援	支援	支援	支援	支援	78
—	—	推進	推進	推進	推進	推進	78
回	14 (H24)	16	16	17	18	19	80
人	—	800	800	850	900	900	81
%	72 (H23)	80	80	80	80	80	81
回	9 (H24)	20	20	20	20	20	81

基本方針	推進項目	施策	成果目標	成果指標
安全・安心で魅力あふれる教育の実現 基本方針5	1 安全・安心なとくしまの学校づくり	2 自然災害等から命を守る教育の推進	災害時において、自ら判断し危険を回避する力と、積極的な社会へ貢献する力の育成が進んでいます。また、地域の関係機関や防災組織との協働を活性化する防災士の育成が進んでいます。	県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計) 高校生防災士養成数(累計) 県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率
		3 登下校・部活動・体育授業時の安全確保	登下校時や学校における児童生徒の安全を確保する取組が進んでいます。	学校安全ボランティアの登録数 学校管理下において、熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数
		4 教育相談体制の充実	いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応するため、充実した教育相談体制が整備されています。	スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価(満足度) スクールソーシャルワーカー配置数
		1 新たな高校教育の創造	高校再編により魅力ある教育活動が展開されるとともに、社会の変化に対応した高校教育の創造が進んでいます。	再編高校の開校 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施
	2 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	2 特色ある学校づくり	県立高校における徳島ならではの取組が全国に向けて発信されています。また、徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校が併置され、視覚障がい・聴覚障がい教育の拠点校として教育活動が展開されるとともに、両校教員の連携・協働による取組が進んでいます。	(再掲)「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) (再掲)「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) 消費者教育の充実に向けた取組の推進 県立高校における「エシカルクラブ」設置率 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数
		3 きめ細かな指導体制の整備	教員が子どもと向き合う時間が確保され、児童生徒一人一人にきめ細やかな指導が実施されています。また、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保障するという「新しい小中一貫教育(徳島モデル)」の取組が進んでいます。	35人を上限とする少人数学級編制 チェーンスクール及びパッケージスクールの実施地域数
		4 地方と都市の学校を結ぶ新たな教育環境の創造	地方と都市、双方の視点に立った考え方のできる人材を育成する「デュアルスクール」のモデル化に向けた取組が進んでいます。	「デュアルスクール」モデル化に向けた取組の推進
		3 私立学校の振興	1 私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり	私立学校教育にかかる経常的経費等への支援により、私立学校の教育条件の維持・向上、経営の安定化、魅力ある学校づくりが進むとともに、修学上の経済的負担の軽減が図られています。
	2 公私立高等学校間の連携・機能分担		公私立高等学校連絡協議会において、公私立高等学校間での意思疎通が活性化され、県内高校教育の充実・振興が図られています。	公私立高等学校連絡協議会の開催
	4 希望に導く教職員の育成	1 優秀な教員の確保	専門知識、使命感、豊かな人間性や指導力に優れた職員が採用されています。	県内外大学における教員採用に係る説明会
		2 教員の資質能力向上	学び続ける教員の支援や研修の充実により、専門性の向上など教職員の資質能力が向上しています。また、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を図る取組が進んでいます。	キャリア教育、グローバル化に対応した教育及びICTを活用した教育の推進を図るための研修への参加者数 教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種に対応した免許状」の保有率 各県立学校・市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修(要請)の実施回数

単位	基準値 (基準年度)	平成29年度までの工程					ページ
		H25	H26	H27	H28	H29	
—	—	予防的取組・復職支援促進	予防的取組・復職支援促進	予防的取組・復職支援促進	予防的取組・復職支援促進	予防的取組・復職支援促進	82
—	—	生活習慣の改善促進	生活習慣の改善促進	生活習慣の改善促進	生活習慣の改善促進	生活習慣の改善促進	82
—	—	推進 (総務事務システムの導入)	推進 (学校支援システムの導入)	推進 (総務事務システム連携機能の試行)	推進 (総務事務システム連携機能の導入)	推進	83
—	—	実施	実施	実施	実施	実施	83
—	—	実施	実施	実施	実施	実施	83